

長浜小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調査場所名 (No.)		長浜小学校付近 No.1	長浜小学校付近 No.2	長浜小学校付近 No.3										
月	日	5月21日	6月11日	6月25日										
時	刻	15時10分	15時10分	15時10分										
天	気	晴れ	晴れ	晴れ										
水	温 (°C)	24.0 °C	24.0 °C	25.0 °C										
気	温 (°C)	18.0 °C	21.0 °C	28.0 °C										
川	幅 (m)	5.1 m	5.1 m	5.1 m										
河	川 名	十一川	十一川	十一川										
生物を採取した場所		全面	全面	全面										
水	深 (cm)	15.0 cm	15.0 cm	15.0 cm										
流	速 (cm / s)	14.0 cm/s	14.0 cm/s	14.0 cm/s										
水	のようす	指標生物												
きれい	I	1	カワゲラ類											
		2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツトビケラ類	○	○	○								
		3	ヒラタゲロウ類	○	○	○								
		4	ブユ類											
		5	ヘビトンボ類											
		6	ガガンボ類											
		7	サワガニ											
I・II共通		8	ウスムシ類	○	○	○								
		9	2以外のトビケラ類		○									
		10	3、14以外のカゲロウ類											
II 少しよごれている	II	11	ヒラ外ロムシ類											
		12	シジミ類											
II・III共通	13	カワニナ	●	●	●									
III よごれている	III	14	サホコカゲロウ											
		15	ヒル類											
		16	ミスムシ											
		17	モノアラガイ											
III・IV共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	IV	19	赤いユスリカ											
		20	イトミス類											
		21	ハナアブ類											
水 質 判 定 表	水		水				水				水			
	のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の種類の計 (○+●)	3	2	1		4	3	1		3	2	1	
	2	みつかった指標生物のうち一番数の多くあった種類(●)		1	1			1	1			1	1	
	合計 (1欄+2欄)		3	3	2		4	4	2		3	3	2	
判定結果(合計が最も大きい区分)		I・II				I・II				I・II				

調査考察、活動内容等

長浜小学校では、「みずすまし」の活動を異学年交流であるクラブ活動の時間に実施しています。春に水生生物に興味がある子どもたちを募って、「みずすまし」を結成します。子どもたちは生き物が好きで、川に入って生き物をとるのはもちろん、その名前や特徴などもよく理解し、楽しみながら活動を行うことができました。そんな子どもたちの活動について、ご紹介します。

1、水生生物ってどんな生き物？

初めてクラブ活動をするようになった5月、集まった子どもたちにまずは水生生物とはどんな生き物なのかを一緒に見ていくことにしました。このとき決めたクラブ長は、4年生からずっと水生生物クラブに所属しており、生き物が好きなのがよく伝わってきました。子どもたちと一緒に、活動のために配付されている下敷きを見たり、冊子を読んだりして、生き物の特徴や生息する場所の予想、さらにどのように採取するのか、網の使いかた、安全についてなど、次回調査に行くのに必要な知識や技術と一緒に確認していきました。子どもたちのわくわく感は大きく、「早く行きたい!」「持ち物、もう一回確認して!」など、うれしそうな様子を見て取ることができました。

2、川の様子はどうかなあ？

2回目のクラブ活動は、子どもたちの想いが通じたのか、とてもよい天気でした。楽しみにしていた子どもたちは、家から持ってきた靴や水槽を得意げに持ちうれしそうに集合しました。早速、何年も本校で調査を行ってきた十一川へ探検に出かけました。

十一川は、長浜市南田附町から流れる、琵琶湖に注ぐ一級河川です。子どもたちの通学路に流れている川で、いつも目にしている子もいます。以前に大雨が降ったときには、こぞって子どもたちが「十一川があふれそう!」と大騒ぎをするほど、身近な川です。その川でよく魚とりをしている子を見かけます。

そんな十一川を、まずは上から見下ろしてみることになりました。上から見たら、川の流れはとても穏やかで、太陽の光がきらきらと輝いていました。その様子を見た子どもたちに「川の様子はどうか。きれいかな？汚れているかな？」と尋ねると、透き通っているきれいな水の流れを見て、「きれいだと思う。」「下がよく見えているからきれい!」という声が返ってきました。上から見たり、眺



めていたりする様子からは、どうやらきれいに見えるようでした。そこでいよいよ川の近くまで行って眺めてみました。すると、遠くでは見えなかった細かいゴミや汚れが見えてきました。「あれ？汚いかも・・・」「でも水は透き通ってるからきれいなんかな？」という声が聞こえてきました。見ていただけでは分からない様子を、水生生物を観察することによって分かるようにするという目的を確認し、いよいよ調査を開始しました。

3、調査開始！いろいろな生き物が見つかったよ！

調査を始めると、子どもたちから様々な声があがりました。「結構水が冷たい！」「ここ、結構深いな・・・」「これ、中に何かいるかな？」など、楽しそうに調査を進めていきました。いろいろな生物が見つかり、網をあげるごとに必ず一匹はいるというくらい、たくさんの生き物がすんでいる川だということがわかりました。



最初は捕まえた生き物をおそろおそろ触っているようでした。一回目の探検では、「動きが気持ち悪くて触れなかった。」「友だちがとってくれて助かった。」ということをお話していた子がいました。しかし、慣れてくるとだんだん自分で捕まえた生物を触れるようになる子が増えてきて、ますます意欲的な様子が見られました。

指標生物でないヤゴもたくさん見つかりました。その中で一番多かったのは「カワニナ」でした。この十一川では、夏になると数匹の蛍がふわふわときれいな様子を見ることができます。カワニナは蛍の幼虫のエサとなることが多く、この川で蛍が見つかるのは、エサとなるカワニナが多くいるからなのかという予想をする子もいました。

また、3年間水生生物クラブに所属しているクラブ長は、「そういえば、4年の時にはサワガニがいっぱいたのに、今年は全然見ないな。」ということをお話していました。3年間で川の様子が変わってきているということに気が付いていることに感心し、そして川が以前と様子が変わり、サワガニがすめなくなってしまったということに驚きました。

その他にもトビケラ類がよく見られました。その形状は少し子どもには抵抗があるようでしたが、慣れてくると手のひらにのせ、しっぽの形や足などを詳しく観察しようとしている子もいました。さらに、子どもたちがドンコと呼んでいる魚もたくさん見つかり、教室へ連れて帰って大事に飼っているクラスもありました。「次のクラブはい



つ?」「次の時も調査に行く?」とうれしそうに聞いてくる子どもたちがたくさんいました。

4、調査をして分かったこと

調査をした日の様子は下記のようにになりました。

- ▶ 天候・・・3回とも晴天
- ▶ COD値・・・4
- ▶ 水温・・・平均24度
- ▶ 気温・・・18度～28度
- ▶ 川幅・・・5.1m
- ▶ 水深・・・15cm(浅い)
- ▶ 流速・・・秒速14cm(少し速い)
- ▶ 川底の様子・・・小石と砂、こぶし大の石がある
- ▶ 水のおい・・・川にいるときは感じないが、網などからは少しドブのおいがある。
- ▶ 濁り・・・透明できれい



↑ 調査によって捕まえた水生生物

一見きれいに見える十一川でしたが、使った網からはドブのようなにおいがしたり、ゴミ拾いを行うと折れた傘や空き缶などのゴミがたくさんあり、とてもきれいという結論は出ませんでした。「ゴミがこれだけあるから、それが原因ではないか。」「汚れる理由が分かる気がするな。」という声を聞くことができるほど、汚れていることに気がついていきました。

また、水生生物の指標ではかっていくと、圧倒的に多いカワニナの様子からきれいな川ではなく、少し汚れている川という結果が出てきました。川を上から見ているだけでは気がつかなかったことが、生き物を調べることによってわかることがわかり、改めて環境に気をつけてすごすこと、そして、生き物が生きる場所を大切にしていけることが大切だと気がつくことができました。

